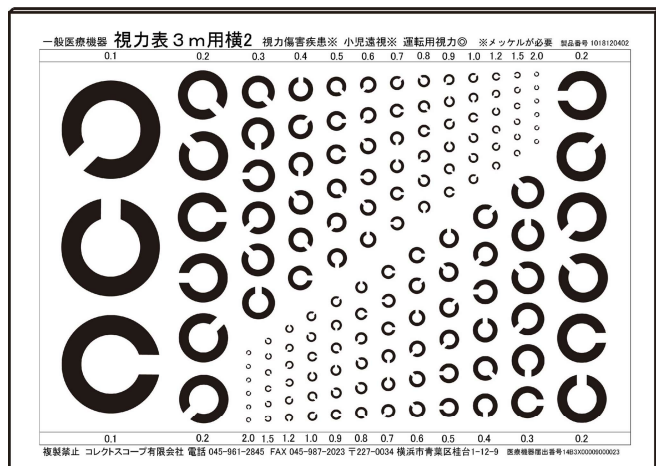


医療用品 06 視力表及び色盲検査表
一般医療機器 視力表 16800000

視力表3m用横 2

【形状・構造・材料・測定原理】



形状 大きさ 縦 297 mm × 横 211 mm × 厚さ 0.13 mm

構造 1 枚の白紙に視標を印刷したもの。

材料 紙

測定原理 ランドルト環視標の切れ目の方向を答えさせることにより視力を測る。

【使用目的】 視力の測定。

【品目仕様】

検査距離 3 m。ランドルト環 8 方向視標。測定視力は 0.1、0.2、0.3、0.4、0.5、0.6、0.7、0.8、0.9、1.0、1.2、1.5、2.0 の 13 段階。視力 0.1 は視標 3 個、視力 0.2 から 2.0 までは各視力値にそれぞれ視標 12 個を備える。

【使用方法】

検査は直射日光の当たらない明るい場所で行う。鉛直の壁の目の高さに本表を貼る。壁から 3 m 離れた床面にテープを貼り、テープに爪先を着けて、大きい視標から小さい視標へと読む。片目ずつ行う。正しく読めた最小の視標の視力値が被検眼の視力である。視標を囲む長方形枠の上下縁に視力値を記してある。左から読むときは上に記した視力値を用い、右から読むときは下の視力値を用いる。

大人の右目の視力を測るときは本人の左手で左目を隠し、視標を大きい方から順に読んでいく。誤答のときは戻り、縦に読ませる。2 個正答できればその縦列の視力があるとしてよい。同様にして、左目の視力も測る。

幼児は 3 歳から測れる。個人差があり、測れない場合もある。右目の視力を測るときは左目をガーゼで覆い、顔面との間に隙間ができないようにテープで止める。被検者に視力検査応答板（ランドルト環の模型）を持たせ、視力検査応答板の向きを視標環の切れ目の向きと同じにするように指導する。慣れてきたら視標環の切れ目の向きを示指で示すように指導する。棒の先で読むべき視標を示す。そのとき視力表に触れないようにする。

【検査結果の扱い】

3 歳児で左右いずれかでも視力 0.5 未満のとき、あるいは 4 歳以上（大人も）で 1.0 未満のときは視力低下の疑いがあるので眼科を受診する。

【使用上の注意】

検査の前に、視標を並べた長方形枠内の皺または汚れを調べる。皺または汚れがある場合には使わないこと。

【保管方法】

折り曲げないこと。高温多湿を避け、暗所に保管する。

【包装】

1 枚単位で梱包。

【資料請求先】**【製造販売業者】**

コレクトスコープ株式会社

〒227-0034 横浜市 青葉区 桂台 1-12-9

電話 045-961-2845 FAX 045-987-2023